



114  
A 3652



米國博覽會事務局章程

今般米國博覽會出品事務取扱候ニ付テハ先年  
埃國博覽會出品之節ニ比スレハ尚一層注意シ  
物品採集ニ於テ精選可致ハ勿論向來不都合無  
之様可致殊ニ次ノ本旨ヲ厚ク心掛候事  
物産ヲ蕃殖シ御國富強ノ基ヲ開キ可申議ニ付  
尚更諸職工各其技量ヲ尽シテ其製品ヲ精良ニ  
シ廣ク外人ノ需用ニ可應様憤興ヤシメ又諸  
高賈ハ益輸出ノ道ヲ開キ候様憤祭セシムヘキ

大正十一年四月  
隈侯爵郵寄贈



事

天産物并ニ御國開化ノ徵進歩ノ度ヲ示シ御國ノ榮譽ヲ宇内ニ輝シ可申事

局長

一 局内諸事務ヲ擔當督責シ事務官ヲ褒貶スルノ權ヲ有ス

二 諸物品ノ如キハ科長ト高議シ精細ニ点檢ノ上可否ヲ定ム

三 出納ノ事務ハ其科長ニ委スルト虽モ其大

綱ヲ括ルヘシ

四 權内ノ事務ハ自ラ決裁シ其權外ハ上申シ

テ后施行スヘシ

出品科

官人工物撰

官天産物撰

諸省府縣出品撰

自費出品撰

一 局長ノ命ヲ受ケ物品採集ノ事務ヲ掌ル

東京會社事務局

二 地方ノ天産物ハ必齋之目途アル物品ノミ  
ヲ徵集スヘシ

三 衆工ニ製造ヲ命スルハ圖ヲ以テ示スヘキ  
ハ其圖ヲ議案ニ添ヘ局長ノ点檢ヲ受ケ代價  
ヲ定メ是ヲ命シ而シテ竣工ヲ監督ス

但シ議書ハ主任檢印ノ上一且書記ニ付シ  
蹄數ヲ加ヘ局長ニ出シ決議ノ上又書記ニ  
復ス然ル後其料ノ簿冊ニ納ム

四 職工ニ命スルニ當リ東京府下ノ分ハ豫メ  
竣工ノ期ヲ定メ先ツ着午ノ資本金金額ノ幾

分ヲ渡シ置一ニ度乃至兩三度追々分通り渡  
シト定メ其約書ヲ局長ノ查印アル議案ニ添  
ヘ會計掛ヘ送致シ金額ヲ拂フ  
但シ証人為相立候事

五 同上遠國ノ分ハ下ケ金期限ヲ定メ是ヲ  
内務省ニ送付シ其府縣工通送バシム

六 出品目錄并著説ハ編成ノ後反譯課ニ渡ス

但シ淨書等ノ事ハ時宜ニ寄リ書記ニ托ス

ル事アルヘシ

(七) 諸省使府縣并諸家等へ可問答之事ハ其要旨ヲ記載スルカ或ハ口述シ書記ヲシテ草案ヲ起シシムルトモ其科ニテ草案ヲ起ストモ便宜ニ随フヘシ

但シ其科ニ於テ草案ヲ起ス時ハ外議案同様處ルスヘシ  
出品ニ關スル事件ハ書記草案ヲ起スト  
雖モ議後其本科ニ納ム

(八) 自費出品ヲ申出候者有之時ハ出品書并其見込等ヲ検査シ相当ト認ル時ハ局長ノ許可ヲ得テ而シテ後施行スベシ

但シ其書付ヲ以テ一旦書記ニ附シ候事前同所之事

(九) 自費出品ニ付資本金并借願出候時ハ是又局長ノ許可ヲ得テ相許シ東京中身元相應ノ者引受証人ニ為相立證書ト引換ニ金額ヲ相渡シ其旨ヲ其管轄廳へ郵報スヘシ若シ東京中ニ証人無之者ハ縣地ニ於テ人選ノ上引受証人為相立金額ハ内務省ヲ經テ其管轄廳ニ送致シ其廳ヨリ本人ニ相渡サシメ証人姓名共其廳ヨリ可届越旨相達可申事

但シ金額渡方會計取扱向前同所ノ事

(十) 所持ノ物品ヲ出シ各國ノ公評ヲ願フ者ハ寫ト

東京會社事務局

評議ヲ尽シ本旨ニ背カザル者ハ許可ヲ局長ニ乞

應接及譯科

及譯掛

通辦掛

一 外國人應接通辦翻譯ノ事務ヲ擔當ス

三 各國公使岡士應答其他各國人ノ引合郵船

會社掛合等ノ事務ニ任スヘシ

三 原書及譯文書往復出品目錄著說等ノ互譯

ヲ要スル者彼國布告書類ノ及譯等ヲ任ス

四 外國人ト他科ノ對話有之時ハ通辦人此科

中ヨリ出候事

庶務科

書記掛

會計掛

一 玄關詰給仕小遣ハ書記ニ屬ス書記其勤惰

ヲ監督ス

二 都テ往復ノ草案諸事ノ議案ヲ起スヲ任トス

庶務科

- 三 諸科ヨリ所出ノ回議ト本科所起ト都テ議案往復案皆先号數ヲ附シ一々番号ヲ帳簿ニ記載シ局長ニ差出議後書記ニ渡シ而シテ所起ノ科ニ還附スヘシ
- 四 著説并ニ出品目錄各科ヨリ送致スル時ハ淨寫シテ其本科ニ還附ス而シテ後庶務科ニ別ノ一本ヲ備フ
- 五 庶務一切ノ簿書ヲ司ル
- 六 出納ハ總テ局長科長ニテ查印無之ハ一切出納ヲ成サス

- 七 都テ簿帳ノ類本局ト一般ノ事
- 八 常額金ハ正院用度課ニ大蔵省ヨリ受取当局ニ相渡候ヲ尚又金庫掛ニ預ケ右ノ内ヨリ三井組ニハ五千円ヲ極度トシテ預ケ置欠乏無之様注意スヘシ
- 九 局費ハ本局ヨリ毎月二百円宛請取三井組ニ預ケ月々仕拂勘定相立候事
- 十 注文物品價額ハ注文帳ニ記載シ決議ノ案ニ附シ科長ノ查印ヲ受ケ切手振出スヘシ
- 十一 貸付金ハ出品費用中ト虽モ部門ヲ久ツベシ

一 費用定額以上申面ノ割附ニ隨ヒ區分ヲ為  
ニ其區費ハ每區日々差引ヲ立テ翌朝上局ニ  
差出右貸附金ハ其出品ニ因テ其區ニ算入ス  
ハ

一 玄閑詰給仕小遣等心得方本局ト異同無ク  
事

明治八年一月

一 常盤全五對辰貞親三太兼皆七才受取也  
一 備用幕下、膳本得十一外人事